Δtrust

Auto Setup ユーザーガイド

Version 1.00 Copyright 2014-2019 Atrust Computer Corp.

著作権表示

著作権 2014-2019 Atrust Computer Corp.無断複写•転載を禁じます。

このドキュメントには、著作権で保護されている専有情報が含まれています。Atrust Computer Corpの事前の書面に よる同意なしに、この文書の一部を複写、複製、または他の言語に翻訳することはできません。

免責事項

Atrust Computer Corp.(「Atrust」)は、本文書の内容または使用に関していかなる表明または保証も行わず、商品性 または特定の目的への適合性の明示的または黙示的な保証を明確に否認します。Atrustは、本書に含まれる技術的 または編集上の誤りまたは脱落について責任を負いません。本書の情報は予告なく変更される場合があります。

商標声明

Atrustは、Atrust Computer Corpの商標です。

ここに記載されているその他の製品名は、識別目的でのみ使用されており、それぞれの会社の商標または登録商標です。

1

Auto Setupの概要

1.1 Auto Setupとは

Auto Setupモードを使用すると、エンドポイントデバイスまたはユーザーは、起動時にネットワーク経由で事前設定された構成を取得し、目的のユーザー環境を自動的に入力できます。

その操作には、以下の可用性が必要です。

- » サポートされているエンドポイントデバイス
- » Auto Setupの環境とメカニズム
- » ネットワーク接続(プリセット構成を取得するために必要)
- » ターゲット仮想化サービス(実際のアプリケーションに必要)

1.2 サポートされているエンドポイントデバイス

	x86ベース		(ARMベース
»	t68L / t68LD	» mt168L	» t60 / t62 / t63 » A66
»	t180L	» mt180L	» t66 / t66DL
»	t220L	» A180L	
	□ 注意		

上記のリストはすべてではありません。新しく開発されたモデルが含まれる場合が あります。



1.3 Auto Setup環境とメカニズム

このユーザーガイドの残りの部分では、エンドポイントデバイスのAuto Setup環境とメカニズムを作成する方法について 説明します。

章	タイトル	説明	ページ
2	Auto Setup環境の作成	Auto Setupのサーバー側コンポーネントの構成	7
3	Auto Setupメカニズムの作成	Auto Setupメカニズム用のINIファイルの生成	27

付録	タイトル	説明	ページ
A	Auto Setupのフローチャート	Auto Setupプロセスのフローチャート	51
В	シングルサインオンの例	シングルサインオンの構成と使用例	53
С	エンドポイントデバイスのリセット	エンドポイントデバイスを工場出荷時のデフォルトにリセットする	57

内容

Auto Setupの概要	3
1.1 Auto Setupとは	3
1.2 サポートされているエンドポイントデバイス	3
1.3 Auto Setup環境とメカニズム	4
Auto Setup環境の作成	7
ステップ1: Web / FTPサーバーの構成	8
ステップ2:実験的なINIファイルをWeb / FTPサーバーに配置する	15
ステップ3: DHCPサーバーの構成または非DHCP環境用のクライアントの構成	16
ステップ4:実験的なINIファイルを使用して環境をテストする	23
ステップ5: オンラインINIファイルの作成	25
Auto Setupメカニズムの作成	27
3.1 INIファイルの生成、表示、保存	27
3.2 ユーザー特権の構成	30
3.3 管理者モードの許可または禁止	32
3.4 Auto Setupでのロックと設定の保持	34
3.5 ユーザー認証とシングルサインオン	36
3.6 ユーザー固有の構成の作成	40
3.7 カスタム壁紙を使用する	41
3.8 ファームウェアの自動インストールと更新	43
ステップ1: ファームウェアファイルをWeb / FTPサーバーに配置する	43
ステップ2:Webサーバーでのディレクトリ参照の有効化(Webサーバーのみ)	46
ステップ3: Auto Setupでのロックと設定の保持	47
3.9 証明書を自動的に取得する	48
ステップ 1: Web / FTPサーバーに証明書ファイルを置く	48
ステップ ² :Webサーバーでのディレクトリ参照の有効化(Webサーバーのみ)	50
付録A.Auto Setupのフローチャート	51
付録B.シングルサインオンの例	53
付録C.エンドポイントデバイスのリセット	57

2

Auto Setup環境の作成

Auto Setupモードは、エンドポイントデバイスまたはユーザーが起動時にネットワーク経由で事前設定された設定を取得し、目的のユーザー環境に自動的に入るモードです。

その操作には、以下の可用性が必要です。

- » Auto Setup環境
- » Auto Setupがサポートされるエンドポイントデバイス
- » ネットワーク接続(プリセット構成を取得するために必要)
- » ターゲット仮想化サービス(実際のアプリケーションに必要)

この章の目的は、Auto Setupモードに必要な環境の設定を支援することです。次の手順は、必要な環境を構成する基本的な手順を示します。

ステップ1: Web / FTPサーバーの構成Web

ステップ2: 実験的なINIファイルをWeb / FTPサーバーに配置する

ステップ3: DHCPサーバーの構成または非DHCP環境用のクライアントの構成

ステップ4: 実験的なINIファイルを使用して環境をテストする

ステップ5:オンラインINIファイルの作成

注意

- » 多くのOSを使用して、Web、FTP、およびDHCPサーバーを実装できます。OS以下にリストされて いるものは、Auto Setup環境に適していることが確認されています。そして、試運転に推奨さ れます:
 - ♦ Windows Server 2016
 ♦ Windows Server 2008 R2
 - \diamond Windows Server 2012 R2



ステップ1: Web / FTPサーバーの構成

エンドポイントデバイスのWeb / FTPサーバーを構成して、プリセット設定を取得する必要があります。 ネットワーク。以下の手順に従ってタスクを完了してください。

📝 注意 » ここでの手順は、Windows Server 2012 R2(Datacenterエディション)で実装された WebおよびFTPサーバーに基づいています。OSとエディションが異なるサーバーでは、 手順が異なる場合があります。 注意 = » ファイアウォール設定をデフォルトのままにするか、WebサーバーまたはFTPサーバー を展開するときに自動的に構成されます。ファイアウォール設定を手動で変更する と、Auto Setupの通常の動作に影響する場合があります。Auto Setupの環境を実装 するためにWindows以外のOSを使用する必要がある場合は、ファイアウォール設定を 確認して、必要に応じて環境のトラブルシューティングを行ってください。

Webサーバーの構成

- 1. Webサーバーを展開します。
- 2. 管理者アカウントでサーバーにログインします。
- 3. [スタート]> [管理ツール]> [インターネットインフォメーションサービス(IIS)マネージャー]をクリックして、インター ネットインフォメーションサービス(IIS)マネージャーを起動します。
- 4. [接続]ウィンドウで、ローカルホストを右クリックし、ポップアップメニューで[Webサイトの追加]を選択します。

Internet Information Services (IIS) Manager	- • ×
🛞 🕥 🛐 > Start Page	🖂 🟠 🔞 •
File View Help	
Connections Information 2	
Kerreh Microsofte Danne Ap Search Danne	
Start Page Distance in the second distance in	
ZWEB12 (ZWEB12\Administrator)	
stop	
Rename Advices Technology Microsoft Web Platform	
in Switch to Content View	
G Add Website	
Start	
IIS News Enable	IIS News
IIS News is disa	
Rename	
including in the second s	
Cuitat da Contact Vie	
Switch to Content V	
Ready	

5. 開いたダイアログボックスで、目的のサイト名を入力します。



	Add We	bsite	? X
Site name:	Application	pool:	Select
Content Directory Physical path: Pass-through authenti Connect as	cation est Settings		JEELL
Binding Type: http v Host name:	IP address: All Unassigned	Port:	
Example: www.contos	o.com or marketing.contoso.	com	
✔ Start Website immedia	stely		
		ОК	Cancel

- 6. サイトコンテンツファイル(INIファイルなど)のパス/ディレクトリを指定します。
 - (a) [コンテンツディレクトリ]セクションで、右側の[参照]ボタンをクリックして、後でアクセスするためにサイトコンテン ツファイルを配置するパス/ディレクトリを見つけます。
 - (b)[C:]> [inetpub]> [wwwroot]を選択し、[新しいフォルダーの作成]をクリックして、Auto Setupを作成します。 パス/ディレクトリ。

Browse For Folder	x
Select a directory for the application.	
inetpub inetpub istory iogs istemp	< =
PerfLogs Piper Files Program Files Piper Files (x86)	~
Make New Folder OK	Cancel

(c) Auto Setupを選択し、[OK]をクリックして確認します。以下に示すように、パス/ディレクトリは自動的に入力されます(C:\ inetpub \ wwwroot \ autosetup)。

Content Directory		
Physical path:		
C:\inetpub\wwwrd	ot\autosetup	
Pass-through auth	entication	
Connect as	Test Settings	

7. [バインド]セクションで、ドロップダウンメニューをクリックして、ローカルホストのIPアドレスを選択します。



Binding		
Туре:	IP address:	Port:
http 🗸	192.168.0.210	✓ 80
Linet menter		
Host name:		
Example: www.contos	o.com or marketing.contoso.com	

- 8. [OK]をクリックして、このWebサイトを追加します。
- 9. このWebサイトで使用されるファイル名拡張子のMIMEタイプを追加します。

注意
* Webサーバーがコンテンツを正しく提供するには、使用されるMIMEを定義する必要が
ありますタイプ。詳細については、以下を参照してください。
https://technet.microsoft.com/en-us/library/cc753281(v=ws.10).aspx
https://technet.microsoft.com/en-us/library/cc725608(v=ws.10).aspx

(a) [接続]ウィンドウで、ツリーで新しく作成されたWebサイトをクリックし、ダブルクリックします

中央ペインのMIMEタイプ 🎢 MIME Types。

(b) [アクション]ウィンドウで[追加]をクリックして[MIMEタイプの追加]ダイアログボックスを開き、次に示すようにMIME タイプを追加します(ファイル名拡張子:。*およびMIMEタイプ:application / octet-stream)。

ファイル名拡張子:。* MIMEタイプ:application / octet-stream MIMEタイプ:application / octet-stream

Add MIME Type ? 🗙
File name extension: .* MIME type:
application/octet-stream
OK Cancel

ファイル名拡張子:。

File name extension: MIME type: application/octet-stream	Add MIME Type	· · ·
MIME type: application/octet-stream	File name extension:	
	MIME type:	
	application/octet-stream	

(c) [OK]をクリックして確定します。

FTPサーバーの構成

- 1. FTPサーバーを展開します。
- 2. 管理者アカウントでサーバーにログインします。
- 3. [スタート]> [管理ツール]> [インターネットインフォメーションサービス(IIS)マネージャー]をクリックして、インター ネットインフォメーションサービス(IIS)マネージャーを起動します。
- 4. [接続]ウィンドウで、ローカルホストを右クリックし、ポップアップメニューで[FTPサイトの追加]を選択します。

V B	Internet Information Services (IIS) Manager				- 🗆 X
💽 💽 👌 Star	🗑 🔿 🦉 > Start Page				🖂 🟠 🔞 •
File View Help					
Connections 	Meroze Int Administrated move Connection	ernet Information colon Sever Monager rent connections rent connections rent connections rent Connections rent Connections	🗭 Page 2. (ZE)	Otine resources Its New and Information Its Developments	
G Add	d Website		G	Refresh IS Forums	
Start Stop	P		_	MSDN	
😅 Add I	d FTP Site			Remove Connection	
Rena	name		92		
🕅 Switc	tch to Content View		ø	Add Website	
			₽	Start	
		News News is disabled		Stop Enables	IS News
			đ	Add FTP Site	
				Rename	
			C2	Switch to Cont	

5. 開いたダイアログボックスで、目的のFTPサイト名を入力します。

	Add FTP Site	?	x
Site Information			
FTP site name: FTP12 Content Directory Physical path:			
	Previous Next Finish	Cancel	

- 6. サイトコンテンツファイル(INIファイルなど)のパス/ディレクトリを指定します。
 - (a) [コンテンツディレクトリ]セクションで、右側の[参照]ボタンをクリックして、後でアクセスするためにサイトコンテン ツファイルを配置するパス/ディレクトリを見つけます。



(b)[C:]> [inetpub]> [ftproot]を選択し、[新しいフォルダーの作成]をクリックして、Auto Setupを作成します。 パス/ディレクトリ。

Browse For Folder	x	Browse For Folder
Select the physical path for the new FTP site.		Select the physical path for the new FTP site.
	×	 ▲ interpub ▷ is custerr ▲ interpoot interpoot <
Make New Folder OK Ca	ancel	Make New Folder OK Cance

(c) Auto Setupを選択し、[OK]をクリックして確認します。以下に示すように、パス/ディレクトリは自動的に入力されます(C:\ inetpub \ ftproot \ autosetup)。

	Add FTP Site	?	x
Site Information			
FTP site name: FTP12			
Content Directory Physical path:			
C:\inetpub\ftproot\autosetup			

- (d) [次へ]をクリックして続行します。
- 7. [バインド]セクションで、ドロップダウンメニューをクリックしてローカルホストのIPアドレスを選択し、[SSLなし]をクリック して選択し、[次へ]をクリックして続行します。

Binding and SSL Settings		
Binding		
IP Address:	Port:	
192.168.0.211	21	
Enable Virtual Host Names:		
Virtual Host (example: ftp.contoso.com):		
Start FTP site automatically		
SSL		
No SSL		
○ Allow SSL		
○ Require SSL		
SSI Certificate:		
obe optimizates		
) Start FTP site automatically SSL No SSL Allow SSL Require SSL SSL Certificate:		



8. [匿名]または[基本]をクリックしてチェックし、ドロップダウンメニューをクリックして[匿名ユーザー]または[すべての ユーザー]を選択し、[読み取り]をクリックしてチェックし、[完了]をクリックして適用します。

Add FTP Site	Add FTP Site
Authentication and Authorization Information	Authentication and Authorization Information
Authentication Anonymous Basic	Authentication Anonymous Besic
Authorization Allow access to: Anonymous users	Authorization Allow access to: All users
Permissions Read Write	Permissions ☑ Read ☐ Write
Previous Next Finish Cancel	Previous Next Finish Cancel

9. 前の手順で匿名ユーザーが選択されている場合、匿名ユーザーのユーザーID情報を提供します。 (a) [接続]ウィンドウで新しく作成したFTPサイトをクリックして選択し、ダブルクリックします中央ペインの FTP FTP Authentic

FTP認証

6	Internet Information Services (IIS) Manager	_ _ ×
E Sites	• FTP12 •	₩ ≈ 🟠 🔞 •
File View Help		
File View Help Connections Co	VECTP12 Home File: 	Actions Explore Edit Permissions Edit Settings Basic Settings Verw Virtual Directories Manage IP Site Sop Advanced Settings
	Activate Window	5
	Go to System in Control	Panel to activate Windows

(b) [FTP認証]ウィンドウで、[匿名認証]をクリックし、[編集]をクリックします。操作ウィンドウ。



(c)開いたウィンドウで、必要に応じてユーザー名とパスワードを入力し、[OK]をクリックして適用します。

Edit Anonymous Authentication Crede	?	x
Anonymous user identity:		
User name:		
ZCU0		
Password:		
•••••		
Confirm password:		
•••••		
ОК С	ancel	



ステップ2:実験的なINIファイルをWeb / FTPサーバーに配置する

エンドポイントデバイスのWeb / FTPサーバーにINIファイルを配置して、事前設定を取得するには、次の手順を実行してください。

ヒント

 ・ 最初にAuto Setup環境をテストするために、この段階で実験的なINIファイルを配置することをお勧めします。

- 1. 管理者アカウントでWeb / FTPサーバーにログインします。
- 2. 実験的なINIファイルを生成するには、27ページの "3.1 INIファイルの生成、表示、保存 (P. 27)" を参照してください。



 » Atrust Auto Setup Creatorを使用して、さまざまなタイプのINIファイルを生成、表示、保存できます。 Atrust Auto Setup Creatorの使用方法の詳細については、27 ページの "3.1 INIファイルの生成、表示、保存(P. 27)" を参照してください。

3種類のINIファイル

エンドポイントデバイスまたはユーザーの構成を事前設定するために使用できるINIファイルには3つのタイプがあります。 ファイル名、場所、それらの適用可能性、必要性、優先度の要件は、以下の表に記載されています。

タイプ	ファイル名	適用性	
グローバル	autocfg.ini	すべてのAuto Setup対応エンドポイントデバイス	
MAC	xxyyzz.ini	 最後の6つの英数字MAC xxyyzzを持つ特定のエンドポイントデバイス	
ユーザー	username.ini	Francis Crick.iniなど、エンドポイントデバイスへのログインに使用される特定のユーザーアカウント	

注意

» エンドポイントデバイスに有線またはワイヤレスネットワークインターフェイスが使用さ れている場合でも、MACタイプのINIファイルは常にLANポートの最後の6文字の英数字 MACアドレスを使用します。

タイプ	ロケーション	必要性と優先度
グローバル	Web サーバ: C:\inetpub\wwwroot\autosetup FTP サーバ: C:\inetpub\ftproot\autosetup	グローバルは、Auto Setup環境に必要な要素です。 MACはグローバルよりも優先されます。
MAC	Web サーバ: C:\inetpub\wwwroot\autosetup\macini FTP サーバ: C:\inetpub\ftproot\autosetup\macini	ユーザーはMACよりも優先されます。
ユーザー	Web サーバ: C:\inetpub\wwwroot\autosetup\userini FTP サーバ: C:\inetpub\ftproot\autosetup\userini	

3. このINIファイルを指定されたパス/ディレクトリに配置します。



Atrust

ステップ3: DHCPサーバーの構成または非DHCP環境用のクライアントの構成

DHCPサーバーの構成

DHCPサーバーを構成するには、次を実行してください。

注意 ここでの手順は、Windows Server 2012 R2(Datacenterエディション)で実装された » DHCPサーバーに基づいています。OSまたはエディションが異なるDHCPサーバーで は、手順が異なる場合があります。

- 1. DHCPサーバーを展開します。
- 2. 管理者アカウントでサーバーにログインします。
- 3. [スタート]> [管理ツール]> [DHCP]をクリックして、DHCP管理コンソールを起動します。
- 4. DHCPサーバーが各エンドポイントデバイスに割り当てることができるAuto Setup環境の3つのカスタム構成 パラメーターを追加します。
 - (a)左側のペインでツリーを開き、IPv4を右クリックしてポップアップメニューを開き、事前定義オプションを 設定します。

DHCP				_ _ ×
File Action	View Help			
🗢 🔿 🙍	1 🗙 🖾 🤉 📾 🔛 🖬 📮 🕯	2		
9 DHCP	Name			Actions
⊿ zdhcp12	₽v4			zdhcp12
	Display Statistics			More Actions
	New Scope		🦯 🖼 🔛 🔤 🔛	
	New Multicast Scope	/-		
	Configure Failover		Name	
	Replicate Failover Scopes	ncn12		
	Define User Classes			
	Define Vendor Classes			
	Reconcile All Scopes		Display Statistics	
	Set Predefined Options	 "		
	Retrest		New Scope	
	Hele	Y		
	riep		New Multicast Scope	
			Configure Failover	
			D 11 1 5 11 6	
			Replicate Failover Scopes	
			Define User Classes	
			Define Vendor Classes	
			Reconcile All Scopes	
			Set Predefined Options	
			Refresh	
				1
Add, remove or cl	nange options from the predefined list			

(b)開いたダイアログボックスで、[追加]をクリックします。

Pr	edefined Options and Values ? ×
Option class: Option name:	DHCP Standard Options 102 Time Offset Add Edt DLLCP Standard Options
Description: Value Long: Dx0	UTC offset in seconds UTC offset in seconds UTC offset Add Edit
	UTC offset in seconds
	OK Cancel

追加する構成パラメーター

データ•タイプ	コード	使用法
string	200	Web / FTPサーバーのアドレスを指定するために使用されます
string	201	FTPサーバーに接続するためのアカウント名を指定するために使用されます
string	202	FTPサーバーに接続するためのアカウントパスワードを指定するために使用されます

(c)開いたダイアログボックスで、目的のオプション名を入力し、ドロップダウンメニューをクリックしてデータ型として 文字列を選択し、コードフィールドに200を入力し、目的の説明を追加し、[OK]をクリックして確認します。新しく追 加されたオプションは、ドロップダウンメニューに表示されます。

	Option Type ? X
Class:	Global
Name:	200 Auto Setup Server
Data type:	String
Code:	200
Description:	
	OK Cancel

Pre	edefined Option	s and Values	? X	
Option class:	Option class: DHCP Standard Options			
Option name:	200 Auto Setu Add	p Server Edit	 Delete	
Description:				
Value				
Sung.				
L		ок	Cancel	



(d) ステップ(b) から(c) に従って、さらに2つの構成パラメーターを追加します。

データ型としての文字列、コードとしての201、および目的のオプション名と説明。 データ型としての文字列、コードとしての202、および目的のオプション名と説明。

注意	
»	(FTPサーバーではなく)WebサーバーがAuto Setup環境で使用される場合、この手 順は不要です。

(e)[OK]をクリックして、ダイアログボックスを閉じます。

- 5. 構成ファイルを取得する場所をエンドポイントデバイスに指示するオプションを追加します。
 - (a) 左側のペインで、Auto SetupモードのエンドポイントデバイスのIPスコープノードを展開し、スコープオプション を右クリックしてポップアップメニューを開き、[オプションの構成]をクリックします。



Atrust

(b)開いたダイアログボックスで、スクロールバーを使用して[コード200]オプションを見つけて選択し、文字列値と してWeb / FTPサーバーのHTTP / FTPアドレスを入力します。

Scope Options	? X	Scope Options ?
General Advanced		General Advanced
Available Options 075 StreetTalk Servers 076 StreetTalk Directory Assistance (STDA) Servers 121 Classless Static Routes 200 Auto Setup Server < III Data entry String value: http://192.168.0.210/	Description ^ List of Stree List of STD/ Destination.	Available Options Description 075 Street Talk Servers List of Street 076 Street Talk Directory Assistance (STDA) Servers List of STDA 121 Classless Static Routes Destination. 200 Auto Setup Server String value String value: [tp://192.168.0.211/
OK Cancel	Apply	OK Cancel Apply

(c) [OK]をクリックして確定します。新しいエントリが中央のペインに表示されます。

Option Name	Vendor	Value	Policy Name
🗈 003 Router	Standard	192.168.0.1	None
E 006 DNS Servers	Standard	192.168.0.2, 192.168.0.52	None
1200 Auto Setup Server	Standard	http://192.168.0.210/	None
Option Name	Vendor	Value	Policy Name
E 003 Router	Standard	192.168.0.1	None
006 DNS Servers	Standard	192.168.0.2, 192.168.0.52	None
200 Auto Setup Server	Standard	ftp://192.168.0.211/	None

6. FTPサーバーの接続に使用するアカウントをエンドポイントデバイスに指示する2つのオプションを追加します。



- (a) 左ペインで、[スコープオプション]を右クリックしてポップアップメニューを開き、[オプションの構成]を クリックします。
- (b)開かれたダイアログボックスで、スクロールバーを使用して、コード201およびコード202オプションを 見つけて選択します。



(c)アカウント名とパスワードを入力します。選択した認証方法に応じて:

アカウント名として匿名を入力し、パスワードを空白のままにします。または、 目的のアカウント名とパスワードをここに入力します。

Scope Options	? X	Scope Options	? X
General Advanced		General Advanced	
Available Options	Description A	Available Options	Description A
 ☐ 121 Classless Static Routes ☑ 200 Auto Setup Server 	Destination,	□ 121 Classless Static Routes 200 Auto Setup Server	Destination,
201 ZC FTP Name	Account Na	201 ZC FTP Name	Account Na
202 ZC FTP Password	Account Pa 🗸	☑ 202 ZC FTP Password	Account Pa 🗸
<	>	<	>
anonymous OK Ca	ncel Apply	ОК	Cancel Apply

(d) [OK]をクリックして確定します。新しいエントリが中央のペインに表示されます。

Option Name	Vendor	Value	Policy Name
E 003 Router	Standard	192.168.0.1	None
006 DNS Servers	Standard	192.168.0.2, 192.168.0.52	None
200 Auto Setup Server	Standard	ftp://192.168.0.211/	None
201 ZC FTP Name	Standard	anonymous	None
202 ZC FTP Password	Standard		None

20

非DHCP環境用のクライアントの構成

非DHCP環境用にクライアントを構成するには、次を実行してください。

- 1. エンドポイントデバイスの静的IPアドレスを構成します。
 - (a)キーボード、マウス、およびモニターが接続され、モニターがオンになっていることを確認します。
 - (b) エンドポイントデバイスがネットワークに物理的に接続されているか、ワイヤレスドングルが接続されていること を確認してください。
 - (c)エンドポイントデバイスをコンセントに接続してから、電源を入れます。
 - (d)[クイック接続]画面で、[セットアップ 🏟]アイコンをクリックして、Atrust Client Setupを起動します。
 - (e) [ネットワーク]> [イーサネット]または[ネットワーク]> [ワイヤレス]を使用して、エンドポイントデバイスの静的IPア ドレスを設定します。

注意					
> ワイヤレス	、接続の場合:				
1. 最初	にワイヤレス接続	を作成しま	ミす。		
2. その	接続を選択して、	静的IPアド	レスのIPv4讀	殳定を編集	します。
	Add − Delete SSID SSID Kik 5 test-88 DSR-1000N	Signal A Secur 100 WPA 95 WPA 92 WPA 86 WPA	Edit Disconr ty Status connected	nect Comment Connectes	Edit Security St

- 2. ネットワーク環境のDHCPサーバーによって提供されるのではなく、各エンドポイントデバイスのWeb / FTPサーバー に関するデータを指定します。
 - (a) Atrust Client Setupで、System> Auto Setupをクリックします。

Jse Interface:	Ethernet 🗸
Neb/FTP Server Address:	
Neb/FTP Username:	
Neb/FTP Password:	
* This setting will take effect after reboot.	



(b)ネットワークインターフェースの目的のタイプを選択します:イーサネットまたはワイヤレス



(c)Auto Setup用のWeb / FTPサーバーのサーバーアドレスを入力します。

注意 ・ プレフ 単に1	ィックスftp://を含むFTPサーバ 92.168.0.211と入力するのではな	ーアドレスを使用するには、 く、ftp://192.168.0.211と入力	必須です。たとえば、 します。
	Basic Settings	Ethernet	
» Webサ	ーバーアドレスの場合は、そのIF Basic Settings ■ I Enable Auto Setup Use Interface: Web/FTP Server Address: Web/FTP Username: Web/FTP Password:	Pアドレスを入力するだけです Ethernet 1 192.168.0.210	t .
	* This setting will take effect after reboot.	Check	

(d) 必要に応じて、Web / FTPサーバーの資格情報を入力します。

ビント ※ CH を確認	neck ボタンを使用して、提供 認できます。	されたサーバーが既に配置されているかどうか
»	. Pacie Sattings	
	Easic Settings	
	Use Interface:	Ethernet 🔄
	Web/FTP Server Address:	ftp://192.168.0.211
	Web/FTP Username:	anonymous
	Web/FTP Password:	
	* This setting will take effect after reboot.	Check

(e)[保存]をクリックして適用します。





ステップ4:実験的なINIファイルを使用して環境をテストする

最初に実験的なINIファイルを使用してAuto Setup環境をテストし、動作に問題がないことを確認することを強くお勧めします。INIファイルを生成するには、"3.1 INIファイルの生成、表示、保存(P. 27)"をご覧ください。詳細については。

エンドポイントデバイスでAuto Setup環境をテストするには、次の手順を実行してください。

>> 注意 » Auto Setup対応デバイスを使用していることを確認してください。 注意 エンドポイントデバイスがネットワークを介して設定を取得すると、新しい設定への次の正常 なアクセスまでその設定を保持できます(Atrust Auto Setup Creatorの設定によって異 なります。 "3.6 ユーザー固有の構成の作成 (P. 40)")。したがって、先に進む前に、エン ドポイントデバイスにデフォルト設定があることを確認してください。そうしないと、構成を正常 に取得できるのか、古い構成を使用するのかを判断できません。 » エンドポイントデバイスがネットワーク経由で正常に構成を取得した後にすべての設定をデ フォルトに復元する場合は、"付録C.エンドポイントデバイスのリセット (P. 57)" を参照して リセットしてください。 » エンドポイントデバイスのAuto Setupの設定値を変更または提供する必要がある場合があ ります。続行する前に、他のデフォルト設定を変更しないでください。

- 1. キーボード、マウス、およびモニターがエンドポイントデバイスに接続され、モニターがオンになっていることを 確認します。
- 2. エンドポイントデバイスがネットワークに物理的に接続されているか、ワイヤレスドングルが接続されていること を確認してください。
- 3. エンドポイントデバイスをコンセントに接続してから、電源を入れます。
- 4. 次の場合には、いくつかの設定を手動で構成し、デバイスを再起動する必要があります。
 - * 非DHCP環境。「非DHCP環境用のクライアントの構成(P. 21)」を参照して、静的IPアドレスを構成し、
 Web / FTPサーバーに関するデータを指定します。
 - » ワイヤレスネットワークのみ。ワイヤレス接続を作成し、その接続の起動時に自動接続を有効にします。 静的IPアドレスを使用するには、IPv4設定をさらに編集する必要があります。手順については、 「非DHCP環境用のクライアントの構成 (P. 21)」の最初の注を参照してください。
- 5. Atrust Client Setup> System> Auto Setupを使用してAuto Setupモードを有効にし、 エンドポイントデバイスを再起動してAuto Setup環境をテストします。





 ビント ※ Character を確認 	eck ボタンを使用して、提 忍できます。	供されたサーバーが既に配置されているかどうか
»	Basic Settings	
	Use Interface: Web/FTP Server Address: Web/FTP Username:	Ethernet T T T T T T T T T T T T T
	Web/FTP Password: * This setting will take effect after rebo	ot.

- » 失敗の場合、モバイルエンドポイントデバイスはローカルデスクトップに入り(システムのデフォルト)、 Auto Setupのすべての設定値はロックされません。
- » 失敗の場合、他のエンドポイントデバイスは、クイック接続画面に入ります(システムのデフォルト)。設計上、エンドポイントデバイスは、Auto Setupモードの場合、自動的にクイック接続モードになりません。
- » 成功した場合、エンドポイントデバイスは、ユーザーログオン/認証画面を表示し、カスタマイズされた ショートカットを使用してローカルデスクトップに入り、特定の仮想化サービスのログオン画面、または事前設定 に従って予想されるプロセスを入力します。また、Auto Setupのすべての設定値がロックされます。





ステップ5: オンラインINIファイルの作成

実際の操作のためにオンラインINIファイルを作成するには、次の説明を参照してください。



3種類のINIファイル

エンドポイントデバイスまたはユーザーの構成を事前設定するために使用できるINIファイルには3つのタイプがあります。 ファイル名、場所、それらの適用可能性、必要性、優先度の要件は、以下の表に記載されています。

グローバル autocfg.ini すべてのAuto Setup対応エンドポイントデバイス MAC xxyyzz.ini 最後の6つの英数字MAC xxyyzzを持つ特定のエンドポイントデバイス	タイプ	ファイル名	適用性
MAC xxyyzz.ini 最後の6つの英数字MAC xxyyzzを持つ特定のエンドポイントデバイス	グローバル	autocfg.ini	すべてのAuto Setup対応エンドポイントデバイス
ってぜ、 upprpaga ini - Francis Crist iniなど エンパポインルデバイフィのログインに住田されて社中のコーザ、フォウンル	MAC	xxyyzz.ini	最後の6つの英数字MAC xxyyzzを持つ特定のエンドポイントデバイス
ユーザー usernalle.ini Francis Unck.iniなと、エンドホインドナハイスへのログインに使用される特定のユーザーナガソンド	ユーザー	username.ini	Francis Crick.iniなど、エンドポイントデバイスへのログインに使用される特定のユーザーアカウント

>>> 注意

» エンドポイントデバイスに有線またはワイヤレスネットワークインターフェイスが使用さ れている場合でも、MACタイプのINIファイルは常にLANポートの最後の6文字の英数字 MACアドレスを使用します。

タイプ	ロケーション	必要性と優先度
グローバル	Web サーバ: C:\inetpub\wwwroot\autosetup FTP サーバ: C:\inetpub\ftproot\autosetup	グローバルは、Auto Setup環境に必要な要素です。 MACはグローバルよりも優先されます。
MAC	Web サーバ: C:\inetpub\wwwroot\autosetup\macini FTP サーバ: C:\inetpub\ftproot\autosetup\macini	ユーザーはMACよりも優先されます。
ユーザー	Web サーバ: C:\inetpub\wwwroot\autosetup\userini FTP サーバ: C:\inetpub\ftproot\autosetup\userini	

26

3

Auto Setupメカニズムの作成

3.1 INIファイルの生成、表示、保存

Auto Setupモードをサポートするモデルには、GUIツールであるAtrust Auto Setup Creatorが付属しており、目的の INIファイルを生成、表示、保存するのに役立ちます。

INIファイルの生成と保存

このツールを使用してINIファイルを生成するには、次を実行してください。

1. Atrust Auto Setup CreatorのZIPファイルから目的の場所にファイルを抽出します。抽出されたファイルが表示 されます次のように。

Name	Date modified	Туре	Size
퉬 bin	9/16/2015 17:58	File folder	
鷆 data	9/16/2015 17:58	File folder	
睯 Atrust Auto Setup Creator.exe	12/12/2014 20:13	Application	109 KB

2. Atrust Auto Setup Creator.exeをダブルクリックして、ツールを直接実行します。優先インターフェース言語を 選択すると、Atrust Auto Setup Creatorが起動します。

インターフェースの概要



番号	名前	説明
1	ファイルメニュー	INIファイルの管理(保存、オープン、作成)に使用されます。
2	表示メニュー	ロードされた設定または現在の設定を表示するために使用されます。
		INIファイルのパス(存在する場合)およびファイルステータス(保存されているかどうか)を表示するために使
3	パスとステータス	用されます。
		注:NIファイルに加えた変更を保存していない場合、ファイル名の後にアスタリスク(*)が追加されます。
4	ナビゲーションエリア	メイン設定カテゴリの設定項目を切り替えるために使用します。
5	設定エリア	詳細設定を構成するために使用されます。

3. このGUIツールを使用して、エンドポイントデバイスの設定(INIファイル)を構成します。

- » 設定カテゴリ、設定項目を選択し、値を選択または指定します。
- » 設定項目を構成したら、[保存]をクリックして適用します。

3種類のINIファイル

エンドポイントデバイスまたはユーザーの構成を事前設定するために使用できるINIファイルには3つのタイプがあります。ファイル名、場所、それらの適用可能性、必要性、優先度の要件は、以下の表に記載されています。

タイプ	ファイル名	適用性
グローバル	autocfg.ini	すべてのAuto Setup対応エンドポイントデバイス
MAC	xxyyzz.ini	最後の6つの英数字MAC xxyyzzを持つ特定のエンドポイントデバイス
ユーザー	username.ini	Francis Crick.iniなど、エンドポイントデバイスへのログインに使用される特定のユーザーアカウント



* エンドポイントデバイスに有線またはワイヤレスネットワークインターフェイスが使用されて いる場合でも、MACタイプのINIファイルは常にLANポートの最後の6文字の英数字MACア ドレスを使用します。

タイプ	ロケーション	必要性と優先度
グローバル	» Web サーバ: C:\inetpub\wwwroot\autosetup » FTP サーバ: C:\inetpub\ftproot\autosetup	» グローバルは、Auto Setup環境に必要な要素です。 » MACはグローバルよりも優先されます。
MAC	» Web サーバ: C:\inetpub\wwwroot\autosetup\macini » FTP サーバ: C:\inetpub\ftproot\autosetup\macini	— » ユーザーはMACよりも優先されます。
ユーザー	» Web サーバ: C:¥inetpub\wwwroot\autosetup\userini » FTP サーバ: C:¥inetpub\ftproot\autosetup\userini	_

0	System Information	+ _ ×
System Ethe	rnet Wireless	
_ Ethernet1		
IP Address :	192.168.0.219	
MAC Address :	00:1f:d8:01:b9:46	
Subnet Mask :	255.255.255.0	このデバイスのMAC ini
Gateway :	192.168.0.1	ル名は01b946.iniです。
DNS :	192.168.0.2 192.168.0.52	
Speed :	100Mbps	
Speed :	100Mbps	
IP Address :	0.0.0.0	
MAC Address	00:1f:d8:01:bb:c2	

4. Atrust Auto Setup Creatorの左上隅にある[ファイル]メニューオプションの[保存]または[名前を付けて保存] を使用して、設定を見つけてINIファイルとして保存します。

INIファイルを開く

Atrust Auto Setup Creatorで既存のINIファイルを開くには、次を実行してください。

- 1. Atrust Auto Setup Creatorで、左上の[ファイル]> [開く]をクリックして、既存のINIファイルを見つけて選択します。
- 2. [開く]をクリックして、そのINIファイルを開きます。

新しいINIファイルの作成

Atrust Auto Setup Creatorを使用して新しいINIファイルを作成するには、次を実行してください。

- 1. Atrust Auto Setup Creatorで、左上隅の[ファイル]> [新規]をクリックします。
- 2. これで、新しいINIファイルの編集を開始できます。



INIファイルの表示

開いた、または編集したINIファイルを表示するには、次を実行してください。

- 1. Atrust Auto Setup Creatorで、左上隅の[ファイル]> [表示]をクリックします。
- 2. [読み込まれた設定を表示] / [現在の設定を表示]をクリックして、開いたまたは編集したINIファイルを表示します。



3.2 ユーザー特権の構成

Atrust Auto Setup Creatorを使用すると、シンクライアントユーザーが利用できる設定の範囲を構成できます。ユー ザー権限を設定するには、次を実行してください。

1. Atrust Auto Setup Creatorで、[システム]> [Auto Setup特権]をクリックして、次のようにページに入ります。

22	Atrust Auto Setup Creator v1.12 - unti	tled.ini 📃 🗖 🗙		
File View				
Navigator	Applications User Interface Devices Network System			
Time Zone	General			
Password	Basic Settings			
Firmware Update	Enable Single Sign On			
Appliance Mode	User Privilege Level:	High 🗢		
Auto Setup Privilege	Enable Administrator Mode			
	Advanced Settings			
	☑ Enable Lock Down			
	✓ Store AutoSetup Configuration in thin client			
	Authentication:	No		
	* Only required for generating autocfg.ini or MAC.ini			
	Password			
	Password for Specific User:			
	* Only required for generating username.ini			

Atrust

2. ユーザー特権レベルを使用して、シンクライアントユーザーが使用できる設定の範囲を設定します。高、中、低、な しの3つの特権レベルが利用可能です。詳細については、以下の表を参照してください。

ユーザー特権レベル	利用可能な設定	
高い	<pre>[アプリケーション]タブ » リモートデスクトップ » Citrix ICA » VMware View » SSH ユーザーインターフェイスタブ » 表示 » デスクトップ » キーボード » マウス » スクリーンセーバー デバイスタブ » USBストレージ » オーディオ » プリンター</pre>	 ネットワークタブ > イーサネット > ルート > VPN > ホスト > ホスト名 > 無線 > Proxy システムタブ > タイムゾーン > パスワード > ファームウェアの更新 > アプライアンスモード > 自動設定 > クイック接続 > ターミナル > エラーレポート > 証明書マネージャー
中	ユーザーインターフェイスタブ » 表示 » デスクトップ » キーボード » マウス » スクリーンセーバー	ネットワークタブ » イーサネット » 無線 システムタブ » タイムゾーン » エラーレポート
低い	ユーザーインターフェイスタブ » 表示 » デスクトップ » キーボード » マウス » スクリーンセーバー	システムタブ » タイムゾーン » エラーレポート
無し	システムタブ » エラーレポート	

>> 注意

* 一部の設定項目がロックされている可能性があります。詳細については、前のポイントを参照してください。

- * 各レベルで使用可能な設定は、シンクライアントのモデルとファームウェアバージョンによって異なる 場合があります。
- 3. [保存]をクリックして適用します。
- 4. すべての設定をグローバル、MAC、またはユーザータイプのINIファイルに保存します。







3.3 管理者モードの許可または禁止

エンドポイントデバイスの管理者モードでは、設定の最も広いアクセス範囲が許可されます。管理者モードのエンドポイント デバイスのユーザーは、ユーザー特権レベルが[高]に設定されている場合、ユーザーと同じ数の設定を構成できます。



エンドポイントデバイスで管理者モードを許可または禁止するには、次の手順を実行してください。

1. Atrust Auto Setup Creatorで、[システム]> [Auto Setup特権]をクリックして、次のようにページに入ります。

22	Atrust Auto Setup Creator v1.12 - untitled.ini		
File View			
Navigator	Applications User Interface Devices Network System		
Time Zone	General		
Password	Basic Settings		
Firmware Update	Enable Single Sign On		
Appliance Mode	User Privilege Level:		
Auto Setup Privilege	Enable Administrator Mode		
	Advanced Settings		
	☑ Enable Lock Down		
	Store AutoSetup Configuration in thin client		
	Authentication: No		
	* Only required for generating autocfg.ini or MAC.ini		
	Password		
	Password for Specific User:		
	* Only required for generating username.ini		
	Delete Save Cancel		

- 2. エンドポイントデバイスで管理者モードを許可または禁止するには、オンまたはオフにします。
- 3. オンにすると、管理者モードの資格情報を提供する2つのフィールドが表示されます。

Basic Settings	
Enable Single Sign On	
User Privilege Level:	None 🗧
✓ Enable Administrator Mode	
Administrator Account:	
Administrator Password:	





* ここでこれらの2つのフィールドを空白のままにすると、エンドポイントデバイスのユーザーは資格情報なして管理者モードに入ることができます。

- 4. [保存]をクリックして適用します。
- 5. すべての設定をグローバル、MAC、またはユーザータイプのINIファイルに保存します。

注意 * さまざまなINIタイプの適用性、必要性、優先度の詳細については、表 "3種類のINIファイ ル (P. 28)"を参照してください。



3.4 Auto Setupでのロックと設定の保持

Auto Setupモードでのロック

事前設定により、エンドポイントデバイスをAuto Setupモードでロックし、(Atrust Client Setupを介して)Auto Setupを 無効にするだけで、ユーザーがAuto Setupモードを終了できないようにすることができます。

エンドポイントデバイスをAuto Setupモードでロックするには、次を実行してください。

1. Atrust Auto Setup Creatorで、[システム]> [Auto Setup特権]をクリックして、次のようにページに入ります。

Navigator	Applications User Interface Devices Network System	
Time Zone	General	
Password	Basic Settings	
Firmware Update	Enable Single Sign On	
Appliance Mode	User Privilege Level:	High
Auto Setup Privilege	Enable Administrator Mode	
	Advanced Settings	
	✓ Enable Lock Down	
	Store AutoSetup Configuration in thin client	
	Authentication:	No
	* Only required for generating autocfg.ini or MAC.ini	
	Password	
	Password for Specific User:	
	* Only required for generating username.ini	L
•	Delete	Save Cance

Г	Advanced Seconds	
	✓ Enable Lock Down	
	✓ Store AutoSetup Configuration in thin client	
	Authentication:	No 🔶
	* Only required for generating autocfg.ini or MAC.ini	

2. 上記の[Enable Lock Down]を使用して、Atrust Client Setupの[Auto Setup]の下のすべての設定値をロック します。設定値の保護されていない灰色のロックアイコン () は、保護された青いロックアイコン ()になります。

Basic Settings	-	Atrust Client
Use Interface:	Ethernet 🔄 🔒	Setupのトの話
Web/FTP Server Address:		
Web/FTP Username:		
Web/FTP Password:		
* This setting will take effect after reboot.		J

SetupのAuto 定





* Atrust Auto Setup Creatorによって指定された他の設定値は、ロックダウンを有効 にするかどうかに関係なくロックされます。

- 3. [保存]をクリックして適用します。
- 4. すべての設定をグローバルまたはMACタイプのINIファイルに保存します。

再起動後の構成の保持または破棄

再起動後、エンドポイントデバイスでAuto Setup構成を保持するかどうかを選択できます。デフォルトでは、Auto Setup 構成は再起動後も保持されます。更新された構成がない場合、またはネットワーク接続がない場合、保存されている構 成が使用されます。再起動後にその構成を破棄することを選択した場合、エンドポイントデバイスは、再起動するたびに ネットワークを介してその構成を取り戻します。

再起動後にエンドポイントデバイスの構成を保持するかどうかを構成するには、次の手順を実行してください。

- 1. Atrust Auto Setup Creatorで、[システム]> [Auto Setup特権]をクリックしてページに入ります。
- 2. Thin ClientにAutoSetup構成を保存するをオンまたはオフにします。

Advanced Settings				
✓ Enable Lock Down				
✓ Store AutoSetup Configuration in thin client				
Authentication:	No 🗘			
* Only required for generating autocfg.ini or MAC.ini				

- 3. [保存]をクリックして適用します。
- 4. すべての設定をグローバルまたはMACタイプのINIファイルに保存します。

3.5 ユーザー認証とシングルサインオン

ユーザー認証の構成

Auto Setupはユーザー固有の構成をサポートしているため、ユーザーは同じユーザー環境で異なるエンドポイントデバイスにログインできます。ユーザー固有の構成を使用するには、ユーザー認証を構成して、ユーザー固有の構成と環境を取得するためにユーザーのIDを確認する必要があります。

注意 注意
* さらに、提供されたユーザー認証の資格情報を仮想デスクトップまたはアプリケーションに自動的に渡すシングルサインオン機能を使用するには、最初にユーザー認証を有
効にする必要があります。

ユーザー認証を構成するには、次を実行してください。

1. Atrust Auto Setup Creatorで、[システム]> [Auto Setup特権]をクリックして、次のようにページに入ります。

22	Atrust Auto Setup Creator v1.12 - untitled.ini				
File View					
Navigator	Applications User Interface Devices Network System				
Time Zone	General				
Password	- Basic Settings				
Firmware Update	Enable Single Sign On				
Appliance Mode	User Privilege Level: High				
Auto Setup Privilege	Enable Administrator Mode				
	Advanced Settings				
	✓ Enable Lock Down				
	✓ Store AutoSetup Configuration in thin client				
	Authentication:	No			
	* Only required for generating autocfg.ini or MAC.ini				
	Password				
	Password for Specific User:				
	* Only required for generating username.ini				
	Delete	Save Cancel			

Advanced Settings		
✓ Enable Lock Down		
✓ Store AutoSetup Configuration in thin client		
Authentication:	No	
* Only required for generating autocfg.ini or MAC.ini		

2. [認証]ドロップダウンメニューをクリックして、目的の認証方法を選択します。適切なオプションを選択するには、 表を参照してください。

認証			
項目			説明
番号			ユーザー認証なし、ユーザー固有の構成なし、ユーザー固有の環境なし
		Yes	ユーザー認証と有効なゲストモード 注意:ゲストモードが有効になっている場合、資格情報を持たないユーザー は、ビルトインゲストアカウントでエンドポイントデバイスを引き続き使用 できます。その後、グローバルおよびMAC(ある場合)構成が適用され ます。この機能を使用して、資格情報を持たないユーザーに基本的か つ限定的な使用を許可することもできます。たとえば、訪問者のため に会議室でエンドポイントデバイスを使用します。
ユーザー	ゲストモードを 有効にする	No	ユーザー認証と無効なゲストモード 注意: ゲストモードを無効にすると、資格情報を持たないユーザーはエンドポ イントデバイスを使用できなくなります。
		自動ログオン	Guestアカウントでの自動ログオン 注意:エンドポイントデバイスは、ビルトインGuestアカウントでシステムにログイン します。グローバルおよびMAC(ある場合)構成が適用されます。
ドメイン			Active Directoryサービスを使用したユーザー認証 注意: ネットワークでActive Directoryサービスが利用可能であることを確 認してください。

- 3. [保存]をクリックして適用します。
- 4. すべての設定をグローバルまたはMACタイプのINIファイルに保存します。





この問題は、アクション[1]または[2]を実行することで解決されます。







Atrust

シングルサインオンの有効化または無効化

Auto Setupはシングルサインオンをサポートし、提供されたユーザー認証の資格情報を仮想デスクトップまたはアプリ ケーションに自動的に渡します。ユーザー認証が有効になっていることを確認してください("ユーザー認証の構成(P. 36)"を参照)。

シングルサインオンを有効または無効にするには、次の手順を実行してください。

1. Atrust Auto Setup Creatorで、[システム]> [Auto Setup特権]をクリックして、次のようにページに入ります。

22	Atrust Auto Setup Creator v1.12 - untit	led.ini 📃 🗖 🗙				
File View						
Navigator	Applications User Interface Devices Network System					
Time Zone	General					
Password	Basic Settings					
Firmware Update	Enable Single Sign On					
Appliance Mode	User Privilege Level:	High 🗘				
Auto Setup Privilege	Enable Administrator Mode					
	Advanced Settings					
	I Enable Lock Down					
	✓ Store AutoSetup Configuration in thin client					
	Authentication:					
	* Only required for generating autocfg.ini or MAC.ini					
	Password					
	Password for Specific User:					
	* Only required for generating username.ini					
	Delete	Save Cancel				

2. [シングルサインオンを有効にする]をオンまたはオフにして、シングルサインオンを有効または無効にします。

- Basic Settings		
✓ Enable Single Sign On		
User Privilege Level: High		
Enable Administrator Mode		



- 3. [保存]をクリックして適用します。
- 4. すべての設定をグローバルまたはMACタイプのINIファイルに保存します。





3.6 ユーザー固有の構成の作成

Auto Setupはユーザー固有の構成をサポートしているため、ユーザーは同じユーザー環境で異なるエンドポイントデバイスにログインできます。

ユーザー固有の構成を作成するには、次を実行してください。

1. Atrust Auto Setup Creatorで、[システム]> [Auto Setup特権]をクリックして、次のようにページに入ります。

2	Atrust Auto Setup Creator v1.12 - untitled.ini				
File View					
Navigator	Applications User Interface Devices Network System				
Time Zone	General				
Password	- Basic Settings-				
Firmware Update	Enable Single Sign On				
Appliance Mode	User Privilege Level:	High	\$		
Auto Setup Privilege	Enable Administrator Mode				
	Advanced Settings				
	✓ Enable Lock Down				
	✓ Store AutoSetup Configuration in thin client				
	Authentication:				
	* Only required for generating autocfg.ini or MAC.ini				
	Password				
	Password for Specific User:				
	* Only required for generating username.ini				
	Delate	[Save] [Save			
	Delere	Save	icei		

- Password		
Password for Specific User:		
* Only required for generating username.ini		

2. 特定のユーザーのパスワードを使用して特定のユーザーアカウントのパスワードを指定し、[保存]をクリックして 適用します。

注意
* ドメインユーザーのユーザーINIファイルでパスワードを指定する必要はありません。 これは、認証方法として[ユーザー]が選択されている場合にのみ必要です。

- 3. その特定のユーザーの設定を構成します。
 - » 設定カテゴリ、設定項目を選択し、値を選択または指定します。
 - » 設定項目を構成したら、[保存]をクリックして適用します。
- 4. ユーザーのアカウント名をファイル名として、すべての設定をユーザー構成ファイル(INIファイル)に保存します。

40

<mark>Δtrus</mark>t

3.7 カスタム壁紙を使用する

Auto Setupモードでは、エンドポイントデバイスはカスタムの壁紙を自動的にダウンロードして使用できます。 エンドポイントデバイスのカスタム壁紙を有効にするには、次を実行してください。

1. Atrust Auto Setup Creatorで、[ユーザーインターフェイス]> [デスクトップ]をクリックします。

<u>8</u>	Atrust Auto Setup Creator v1.11 - untitled.ini	_ 🗆 X
File View		
Navigator	Applications User Interface Devices Network System	
Desktop	General	
Keyboard	System Language	
Mouse	Language: English	÷
Screensaver	C Desktop Background	
	✓ Enable Desktop Wallpaper	
	Enable Custom Wallpaper	
	Wallpaper Style: Stretched	÷
	Wallpaper: Blue	
	Delete	Cancel

2. [カスタム壁紙を有効にする]をオンにします。

22	Atrust Auto Setup Creator v1.11 - untitled.ini	_ 🗆 X
File View		
Navigator	Applications User Interface Devices Network System	
Desktop	General	
Keyboard	System Language	
Mouse	Language: English	\$
Screensaver	Desktop Background	
	✓ Enable Desktop Wallpaper	
L	☑ Enable Custom Wallpaper	
	Wallpaper Style: Stretched	÷
	Download From: Auto Setup	÷
	Custom wallpaper File:	
	Delete	/e Cancel

3. 壁紙を適用する方法を選択し、Auto Setupを選択して画像ファイルをダウンロードします。



4. [カスタム壁紙ファイル]フィールドをクリックして、開いているウィンドウで目的の壁紙を見つけ、[開く]をクリックして 確認します。





5. 選択した壁紙のファイル名がそのフィールドに表示されます。[保存]をクリックして確定します。

2		At	rust Auto S	Setup Creat	or v1.11 - u	intitled.ini				x
File View										
Navigator	Applications	User Interface	Devices	Network	System]				
Desktop	General									_
Keyboard	- System Lan	iguage								111
Mouse	Language:						English		\$	
Screensaver	- Desktop Ba	ckground								
	✓ Enable I	- Desktop Wallpaper								
	✓ Enable (Custom Wallpaper								
	Wallpaper S	Style:					Stretched		\$	
	Download I	From:					Auto Setup		\$	
	Custom wa	llpaper File:					Wallpaper.jpg			
										-
	Delete							Save	Cancel	

6. すべての設定をグローバル、MAC、またはユーザータイプのINIファイルに保存します。

Atrust

3.8 ファームウェアの自動インストールと更新

以下は、起動時にエンドポイントデバイスのファームウェアを自動的にインストールおよび更新するセットアップについて説明します。手順に従って必要なタスクを完了してください。

ステップ1: ファームウェアファイルをWeb / FTPサーバーに配置する ステップ2: Webサーバーでのディレクトリ参照の有効化(Webサーバーのみ) ステップ3: Auto Setupでのロックと設定の保持



ステップ1:ファームウェアファイルをWeb / FTPサーバーに配置する

ファームウェアファイルをWeb / FTPサーバーに配置するには、次の手順を実行してください。

1. 管理者アカウントでWeb / FTPサーバーにログインします。





2. Windowsエクスプローラーを使用して、INIファイルを配置するディレクトリ(Webサーバーの場合はC:¥ inetpub ¥ wwwroot ¥ autosetup、FTPサーバーの場合はC:\ inetpub \ ftproot \ autosetup)を見つけて、firmwareと いう名前の新しいフォルダーを作成します。

💷 I 🕞 🚯 = I		autosetup		_ 🗆 X
File Home Share	View			~ 🕐
€ ⊚ ▼ 1 📕 « in	etpub 🕨 www.root 🕨	autosetup	✓ ♥ Search autosetu	<mark>م ا</mark>
★ Favorites	Name	Date modified	Туре	Size
Desktop) firmware	9/15/2015 14:12	File folder	
🗼 Downloads	鷆 userini	9/15/2015 14:10	File folder	
📃 Recent places	🗿 autocfg.ini	9/14/2015 15:09	Configuration settings	1 KB
=	web.config	8/13/2015 17:03	CONFIG File	1 KB
🔒 l 🕞 🚯 = l		autosetup		_ D X
File Home Share	View			~ ?
€ ⊚ ▼ 1 🚺 « in	etpub 🕨 ftproot 🕨 au	utosetup	✓ C Search autosetu	ip 🔎
☆ Favorites	Name	Date modified	Туре	Size
Desktop	🌗 firmware	9/16/2015 16:08	File folder	
🗼 Downloads	퉬 userini	9/18/2015 03:47	File folder	
🖳 Recent places	autocfg.ini	9/18/2015 03:33	Configuration settings	1 KB
=				

3. ファームウェアZIPファイルからファイルを抽出し、宛先として新しく作成されたフォルダー(ファームウェア)を選択します。

	x
💿 🌗 Extract Compressed (Zipped) Folders	
Select a Destination and Extract Files	
Files will be extracted to this folder:	
C:\inetpub\wwwroot\autosetup\firmware Browse	
Show extracted files when complete	
Extract Cancel	

	x
💿 🗓 Extract Compressed (Zipped) Folders	
Select a Destination and Extract Files	
Files will be extracted to this folder:	
C:\inetpub\ftproot\autosetup\firmware Browse	
Show extracted files when complete	
Extract Can	cel

4. 解凍されたすべてのファイルは、フォルダー名としてファームウェアバージョンを持つフォルダーに配置されます。

				-
File Home Shar	e View			V (2)
🕘 🕘 🔹 🕇 📕 🔍	www.root + autosetup + firmware +	✓ C Search f	irmware	Q
☆ Favorites	Name	Date modified	Туре	Size
E Desktop	\mu arm-8.32_INTL	9/16/2015 17:44	File folder	
〕 Downloads	🎉 arm-8.33_INTL	9/16/2015 17:45	File folder	
🔚 Recent places	arm-8.34_PREB	9/16/2015 17:43	File folder	

💷 l 🕞 🚯 🖛 l	firmware		_ D X
File Home S	hare View		~ ?
🤄 🤿 🗸 🚺	« ftproot 🔸 autosetup 🔸 firmware 🕨	✓ 🖒 Search f	irmware 🔎
⊿ 🔆 Favorites	^ Name	Date modified	Type Size
📃 Desktop	\mu arm-8.32_INTL	9/16/2015 16:07	File folder
〕 Downloads	🍌 arm-8.33_INTL	9/16/2015 16:08	File folder
🖳 Recent places	🌗 arm-8.34_PREB	9/16/2015 15:56	File folder
	=		

ステップ2: Webサーバーでのディレクトリ参照の有効化(Webサーバーのみ)

Webサーバー上のサブディレクトリアクセスでディレクトリブラウジングを有効にするには、次の手順を実行してください。

- 1. [スタート]> [管理ツール]> [インターネットインフォメーションサービス(IIS)マネージャー]をクリックして、 インターネットインフォメーションサービス(IIS)マネージャーを起動します。
- 2. [接続]ウィンドウでツリーを展開し、[Auto Setup]モードのWebサイトをクリックして選択します。

110

V 3	Internet Information Services (IIS) Manager	×
€ Sites ►	WEB12 >	<u>₩</u> ≈ 🔄 🔞 •
File View Help		
Connections	CWED12 Home	Actions
Q		🔉 Explore
✓ Start Page ⊿ Start Page ZWEB12 (ZWEB12\Administrator)	Filter: • 🐨 Go - 🐙 Show All Group by: Area - 🔟 -	Edit Permissions
Application Pools		Bindings
Default Web Site	I 🔥 🖞 👌 🗊 🛕 🖆 📲 📗 🏂 📬 🌮	Basic Settings
WEB12	Authentic Compression Default Directory Error Pages Handler HTTP Logging MIME Types Modules Output	View Applications
	Cocinent onowing mappings response Cocining	View Virtual Directories
	. 103	Manage Website
/ Start 🖉	Page	▶ Start
	12 (7) (5) 12) 4	Stop
/. The ZWEB	12 (ZWEB12\Adi	Browse Website
Δ,	polication Pools	Advanced Settings
	pheadon r oois	Configure
⊿ . o Sit	tes	Limits
10	D C HUNLICH	😢 Help
\ ▷.€	Default Web Sit	
\ i 🔼	WEB12	
\ V 💟	WEDTE	
	Activate Window	Ś
< III >	Features View Go to System in Contro	JI Panel to activate Windows.
Ready		9 <u>1</u> .:

3. 中央のペインで[ディレクトリブラウジング サブディレクトリアクセスを有効にします。

Directory]をダブルクリックし、右ペインで[有効化]をクリックして、 Browsing

V 1	Internet Information Services (IIS) Manager	_ 🗆 X
€ Sites →	> ZCWEB12 >	🖬 🛛 🔂 📵 •
File View Help		
rue view reep Connections	Directory Browsing Use the fasture to specify the information that displays in a directory listing. ○ ○ ○ 0 Inte ○ 0 Inte ○ 0 Inte ○ Derg date Cancel Enable ② Help Activate Windows	ury kowsing has been led.
		P1
Configuration: 'ZCWEB12' web.config		₩ <u>ä</u> .:



Atrust

ステップ3: Auto Setupでのロックと設定の保持

起動時にエンドポイントデバイスのファームウェアを自動的にインストールまたは更新するには、次の手順を実行してください。

1. Atrust Auto Setup Creatorを使用して、適切なINIファイルでファームウェア関連の設定を指定します。

```
注意
         * Atrust Auto Setup CreatorでINIファイルを生成する方法については、
            "3.1 INIファイルの生成、表示、保存 (P. 27)"を参照してください。
         * C:\ inetpub \ wwwroot \ autosetup \ firmwareの下のファームウェアフォルダー名
            (Webサーバー)またはC:\ inetpub \ ftproot \ autosetup \ firmware(FTPサー
            バー)は、Atrust Auto Setup Creatorのファームウェアフォルダー名として使用されま
            す。
                                                       Atrust Auto Setup Creator
                                                Firmware Update
                                                Model:
                                                Firmware Folder Name:
                                                Language:
             Firmware Undate
                                                                                ¢
             Model:
                                                       t66/t66DL/A66
             Firmware Folder Name:
             Language:
                                                       English
                                                                                $
                                                                  クリックしてファームウェアフォル
ダーを見つけ、その名前を取
得します(例:arm-8.24_IAAA)
                                                                                -
                                           firmware
            lome
                  Share
                          View
                                                           ✓ ♂ Search firmware
             1 👔 🖇 www.root 🕨 autosetup 🕨 firmware 🕨
                                        .
                         Name
                                                           Date modified
                                                                          Туре
            es
            top
                         퉬 arm-8.32_INTL
                                                           9/16/2015 17:44
                                                                          File folder
            nloads
                         arm-8.33_INTL
                                                           9/16/2015 17:45
                                                                          File folder
            nt places
                         퉬 arm-8.34_PREB
                                                           9/16/2015 17:43
                                                                          File folder
                                   ファームウェアのフォルダー名
                                                                                —
            Ŧ
                                           firmware
            lome
                  Share
                          View
                                                           ✓ C Search firmware
                 闄 « ftproot 🕨 autosetup 🕨 firmware 🕨
             Ť
                                        .
                         Name
                                                           Date modified
                                                                          Type
            es
                         arm-8.32 INTL
                                                           9/16/2015 16:07
                                                                          File folder
            top
            nloads
                         퉬 arm-8.33_INTL
                                                           9/16/2015 16:08
                                                                          File folder
                         arm-8.34_PREB
                                                           9/16/2015 15:56
                                                                          File folder
            nt places
                                  ファームウェアのフォルダー名
```



2. INIファイルをWeb / FTPサーバーに配置します。



3.9 証明書を自動的に取得する

仮想/リモートデスクトップまたはアプリケーションでは、アクセスに証明書が必要な場合があります。以下は、必要に応じ てエンドポイントデバイスに証明書を自動的に提供するセットアップをガイドします。手順に従って必要なタスクを完了して ください。

ステップ 1: Web / FTPサーバーに証明書ファイルを置く ステップ 2: Webサーバーでのディレクトリ参照の有効化(Webサーバーのみ)



ステップ¹: Web / FTPサーバーに証明書ファイルを置く

証明書ファイルをWeb / FTPサーバーに配置するには、次を実行してください。



1. 管理者アカウントでWeb / FTPサーバーにログインします。





Atrust

 Windowsエクスプローラを使用して、INIファイルを配置するディレクトリ(Webサーバーの場合はC:\ inetpub \ wwwroot \ autosetup、FTPサーバーの場合はC:\ inetpub \ ftproot \ autosetup)を見つけて、certsという 名前の新しいフォルダーを作成します。

🚇 l 🕞 🚯 = l		autosetup		_ 🗆 X
File Home Share	View			~ ?
	tpub ▶ www.root ▶ a	utosetup	✓ ♥ Search autoset	up 🔎
☆ Favorites	Name	Date modified	Туре	Size
Desktop	鷆 certs	9/16/2015 19:00	File folder	
〕 Downloads	鷆 firmware	9/16/2015 17:45	File folder	
📃 Recent places	鷆 userini	9/15/2015 14:10	File folder	
=	autocfg.ini	9/16/2015 18:51	Configuration settings	1 KB
📕 🕞 🚺 =		autosetup		_ D X
File Home Share	View			~ ?
	tpub 🕨 ftproot 🕨 auto	osetup	✓ C Search autoset	up 🔎
⊿ 🔆 Favorites	Name	Date modified	Туре	Size
Desktop	퉬 certs	9/16/2015 16:23	File folder	
〕 Downloads	퉬 firmware	9/16/2015 16:08	File folder	
Recent places	퉬 userini	9/18/2015 03:47	File folder	
=	autocfg.ini	9/18/2015 03:33	Configuration settings	1 KB

3. すべての証明書ファイルを、新しく作成されたフォルダーcertsの下に配置します。

🔊 🕞 🕼 = I	certs		_ □	х
File Home Sh	are View		,	< ?
€ ⊚ - ↑	inetpub + www.root + autosetup + certs	v 🖒 Search c	erts	9
☆ Favorites	^ Name	Date modified	Туре	Size
Desktop	📮 CTX.crt	12/23/2014 17:09	Security Certificate	
〕 Downloads	🔄 VHV.crt	12/23/2014 17:09	Security Certificate	
📃 Recent places	🙀 WMS.crt	12/23/2014 17:09	Security Certificate	
	=			





ステップ²: Webサーバーでのディレクトリ参照の有効化(Webサーバーのみ)

Webサーバー上のサブディレクトリアクセスでディレクトリブラウジングを有効にするには、次の手順を実行してください。

- 1. [スタート]> [管理ツール]> [インターネットインフォメーションサービス(IIS)マネージャー]をクリックして、インター ネットインフォメーションサービス(IIS)マネージャーを起動します。
- 2. [接続]ウィンドウでツリーを展開し、[Auto Setup]モードのWebサイトをクリックして選択します。

e 3	Internet Information Services (IIS) Manager	_ _ ×
€ Sites →	WEB12 >	<u> </u>
File View Help		
Connections	ZCWEB12 Home	Actions
Start Page		Explore Edit Permissions
ZWEB12 (ZWEB12\Administrator)	Hiter: • # Go + S Show All Group by: Area • III •	Edit Site
4 - Sites		Bindings
Default Web Site WEB12	Authentic Compression Default Directory Error Pages Handler HTTP Logging MIME Types Modules Output	View Applications
	Document Browsing Mappings Respon Caching	View Virtual Directories
Cart F	Page	Manage Website
TIMED		Start
ZWEB	12 (ZWEB12/Ad)	Stop
/ 🛄 Ar	oplication Pools	Browse Website Browse 192,168.0.210:80 (http)
		Advanced Settings
	tes	Configure
Þ. 😜	Default Web Site	Limits
		🕑 neip
\ ⊳ { €	WEB12	
	Activate Mindau	
	Features View Content View Go to System in Control	Panel to activate Windows.
Ready		G.
		18.11

 中央のペインで[ディレクトリブラウジング サブディレクトリアクセスを有効にします。

🐑 Internet Information Services (IIS) Manager		
	ZCWEB12 >	🔯 🛛 🟠 🔞 •
File View Help		
Application Product Versity Application Product Versi	ZCVER2 > Image: Control of the information that displays in a directory listing. Image: Control of the information that displays in a directory listing. Image: Control of the information that displays in a directory listing. Image: Control of the information that displays in a directory listing. Image: Control of the information that displays in a directory listing. Image: Control of the information that displays in a directory listing. Image: Control of the information that displays in a directory listing. Image: Control of the information that displays in a directory listing. Image: Control of the information that displays in a directory listing. Image: Control of the information that displays in a directory listing. Image: Control of the information that displays in a directory listing. Image: Control of the information that displays in a directory listing. Image: Control of the information that displays in a directory listing. Image: Control of the information that displays in a directory listing. Image: Control of the information that displays in a directory listing. Image: Control of the information that displays in a directory listing. Image: Control of the information that displays in a directory listing. Image: Control of the information that displays in a directory listing. Image: Control of the information the information the informating displays in a directory listing	Aerts Aerts Aerts Aerts Aerts Aerts Recent Enable Phelp
Configuration: 'ZCWEB12' web.config	Features View Content View Go to System in C	dows ontrol Panel to activate Windows.

Atrust

付録A.Auto Setupのフローチャート

Auto Setupのフローチャートについては、次のページをご覧ください。



付録B.シングルサインオンの例

注意

以下は、シングルサインオンの構成と使用例であり、提供されたユーザー認証の資格情報を仮想デスクトップまたはアプリケーションに自動的に渡します。

1. 次の設定(システム>Auto Setup特権)でグローバルタイプのINIファイルを作成します。

_ 設定項目	値/ステータス
シングルサインオンを有効にする	Checked
	None
管理者モードを有効化	Unchecked
	Checked
シンクライアントにAuto Setup構成を保存する	Checked
	Domain
特定のユーザーのパスワード	Leave it blank

これは、認証方法として[ユーザー]が選択されている場合にのみ必要です。

ドメインユーザーのユーザーINIファイルでパスワードを指定する必要はありません。



2. autocfg.iniとして必要な場所に保存します。

Webサーバー: C:\inetpub\wwwroot\autosetup FTPサーバー: C:\inetpub\ftproot\autosetup



3. 次の設定(アプリケーション> VMware View>追加)でユーザータイプのINIファイルを作成します。

設定項目	値/ステータ
セッション名	欲しいものを入力
接続サーバー	View Connection ServerのIPアドレスを入力します

2	Atrust Auto Setup Creator v1.16 - C:/inetpub/wwwroot/autosetup/userini/VHVU2.ini
File View	
Navigator	Applications User Interface Devices Network System
Remote Desktop	General Options
Citrix ICA	Server Settings
VMware View	Session Name: * VHV6
SSH	Connection Convers
	Port:
	Use Secure Connection(SSL):
	Certificate checking mode:
	When Connection Ends:
	Login Settings-
	User Name:
	Password:
	Domain:
	Desktop / Application Name:
	Preferred Disnlav Protocol
	Delete Save Cancel

4. その他の設定はすべてデフォルトまたは空白のままにして、ドメインユーザーのアカウント名をファイル名として必要な 場所に保存します。このドメインユーザーが仮想デスクトップまたはアプリケーションにアクセスする資格を持って いることを確認してください。以下は、ファイル名に関する例です。

ドメイン	ドメインユーザーアカウント	ユーザーINIのファイル名
VHV.poc	VHVU2	VHVU2

ロケーション:

Webサーバー: C:\inetpub\wwwroot\autosetup FTPサーバー: C:\inetpub\ftproot\autosetup

5. Auto Setupが有効になっているシンクライアントの電源を入れるか、再起動します。

6. 資格情報の入力を求める[ユーザー認証]画面が表示されます。ここにドメインユーザーの資格情報を入力し、 [ログイン]をクリックします。手順4でINIファイルを構成したドメインユーザーの資格情報を使用してください。

Enter your Credentials	
Username:	
Password:	
	Login
	Atrust
	Zitidst

7. ローカルデスクトップで、VMware View接続のショートカットをクリックします。

	Atrust
START 🗾 🔄 [Terminal - user@atr	us 🥝 ؇ 💷



8. 手順6で提供された資格情報が適用されます。ドメインユーザーは、資格のあるすべての仮想デスクトップと アプリケーションにアクセスするために資格情報を再度入力する必要はありません。



付録C.エンドポイントデバイスのリセット

すべてのクライアント設定をデフォルトに戻す必要がある場合は、次の手順に従ってタスクを完了してください。

- 1. 電源オフ状態(電源LEDがオフ)で、モニターをクライアントに接続し、入力します。モデルに応じて、 次のいずれかを使用してそのメニューに入ります。
 - » 電源ボタンを6~8秒長押しして、メニューに入ります。
 - » 電源ボタンを長押ししてメニューに入ります。
 - » Thin Clientの電源を入れ、Escを押してメニューに入ります。

Atrustシンクライアントメニュー	
ノーマルモード	Atrustシンクライアントメニュー
セーフモード	
リセットモード	ノーマルモード
ファームウェアの更新	セーフモード
リブート	リセットモード
シャットダウン	ファームウェアの更新
	リブート
	シャットダウン



このメニューが画面に表示されるまで、約5秒待つ必要がある場合があります。

Atrust Thin Clientメニューには、通常モード、セーフモード、リセットモード、ファームウェアアップデート、再起動、シャットダウンの6つのオプションがあります。 各オプションの説明については、次の表を参照してください。

メニューオプション	説明
ノーマルモード	通常の起動手順としてクライアントを起動します。
セーフモード	現在の画面解像度設定をクリアしてリセットします。
リセットモード	クライアントを工場出荷時のデフォルトにリセットします。
ファームウェアの更新	クライアントのファームウェアを更新します。
リブート	クライアントを再起動します。
シャットダウン	クライアントをシャットダウンします。

2. キーボードの矢印キーを使用して[リセットモード]を選択し、キーボードのEnterキーを押して続行します。

3. 確認を求めるメッセージが表示されます。キーボードのyをクリックして確認します。

4. 完了したら、キーボードのEnterキーを押してシステムを再起動します。



58

UG-ACFG-JP-19092411

